

【オーストラリアの電力事情】

(1) オーストラリアと当社の比較

	オーストラリア全体	ヴィクトリア州	東京電力
発電設備	4,477 万 kW	834 万 kW	6,038 万 kW
水力	738 万 kW(17%)	45 万 kW(5%)	852 万 kW(14%)
火力	3,739 万 kW(83%)	789 万 kW(95%)	3,455 万 kW(57%)
原子力	—	—	1,731 万 kW(29%)
発電電力量	2,011 億 kWh	494 億 kWh	2,948 億 kWh
最大電力	2,750 万 kW(2001.1)※	802 万 kW(2001.2)	6,430 万 kW(2001.7)
販売電力量	1,763 億 kWh	390 億 kWh	2,819 億 kWh

※NEM における最大電力（タスマニア州、西オーストラリア州、北部準州を除く）  
（オーストラリア：2002 年 6 月末、当社：2002 年度）

(2) オーストラリアの電力自由化の状況

オーストラリアでの電気事業再編はヴィクトリア州、ニュー・サウス・ウェールズ州の 2 州で先行して行われ、この 2 州の電力卸売市場を統合し、全国統一市場（NEM：National Electricity Market）が形成された。現在は上記 2 州の他、クイーンズランド州、南オーストラリア州及びオーストラリア首都特別区を加え、合計 5 地域が NEM に参加している。NEM は全国電力市場管理会社（NEMMCO：National Electricity Market Management Company）によって運営されている。タスマニア州は、タスマニア島と本土を結ぶ送電線の建設が終了した後に NEM に統合する予定。これにより西オーストラリア州と北部準州を除く地域が NEM に参加することになる。なお、NEM を形成している各州との系統連系がないため、西オーストラリア州と北部準州は NEM への参加はできない。

(3) ヴィクトリア州の電力自由化の状況

ヴィクトリア州では、電気事業の再編に伴い、段階的小売自由化を導入してきており、2002 年 1 月から完全小売自由化に移行した。現在は発電、送電（規制）、配電（規制）、小売事業者が存在し、発電、小売部門で競争が促進されている。また、電力自由化の一環として、従来州政府が保有していた発電設備が民間に売却されており、ロイ・ヤン A 発電所も 1997 年、同様に今回の売り主（CMS、NRG、ホライズンエナジー）に売却されていた。